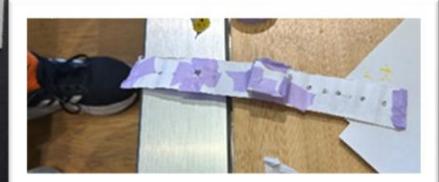




# ANNUAL REPORT 2025



## SOCIAL ACTY

一人ひとりが生き生きと生活できる社会の実現を目指しています。

### What's Social acty ?

「一人ひとりがいきいきと生活すると集団や組織もいきいきしてくる。そして、社会全体もいきいきとしてくる。」そんなことを願っています。

そのためには、一人ひとりが持っている能力が発揮できること。

それを引き出すお手伝いをしたいと考えています。

Facilitationは、引き出す、容易にする、という意味があります。

能力を引き出す、やる気を引き出す、成果を引き出す。

まちづくりも組織も社会も楽しくなりますね。

ご興味がある方はお気軽にお問い合わせください。

### ..... Contact .....

株式会社 ソーシャル・アクティ  
代表取締役 林 加代子



HP <http://social-acty.com>

TEL 0564-53-0370

MAIL [social-acty@m4.catvmics.ne.jp](mailto:social-acty@m4.catvmics.ne.jp)



# ▶ For Children

小学校～高校生まで、みんなの参加！



小中学生にむけたスタートアップスクールでのファシリテーター。子ども達の発想に驚き！でした。卵を無事に着地させられる？



高校生のやりたい！を実現させる取り組み「高校生による高校生のこども食堂」月に1回、図書館の調理室で開催しています。



子どもと大人が子どもの権利について対話する会  
子どもたちからのフィードバックに、手ごたえを感じました。



小学生の想像力、言語化力を伸ばす「オリジナル絵本づくり」  
朝から一日かけて、絵本にしました。

# ▶ workshop

地域を愛する人たちと交流できました



「ボッチャ」は年齢を問わずにできる。ということで社会福祉協議会がオシ！  
地域のみんなが参加して自分たちで対話をできるように考えました。



毎月続けている「未来茶輪」  
もっと多様な人にリーチしたい！ということで、喫茶店をお借りして開催しました。



65年前の伊勢湾台風で被害が大きかった名古屋市の一つの区で防災ワークショップのお手伝いをしました。  
幼いころの被害状況を共有し、今の世代に伝えたいことなどを話し合いました。  
聞き語りの大切さを体感しました。  
←中日新聞に掲載されました。

# ▶ Research & Development

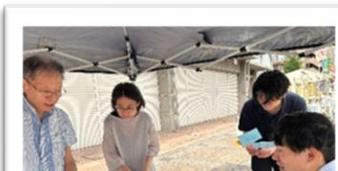
新しい視点を取り入れる



2023年から取り組んでいる  
「マイクロアグレッション」  
2025年は、無意識の意識と行動をマッピングしました。  
伝わりにくい概念を自分ごとに！



アートで有名な直島。  
豊島との話を思い出しながらも、世界中から人を惹き付け、滞在型リゾートにもなっているアートの力を体感しました。



長年取り組んできた防災ゲーム「クロスロード」をアウトドアで！  
他の防災ワークショップのみなさんとご一緒できました。  
世代を超えて参加していただけました。



地方自治研究学会で発表  
福島県浪江町でまちづくりに活用されている「ワールドカフェ」合意形成が効率的にで

# ▶ 2025年ふりかえり

- 今まで試行錯誤を重ねて来て、ある程度完成していたプログラムがいくつかあります。これらを新しい視点で見直し、トライする機会をいただいた1年でした。もっと参加者に寄り添って、成果も納得してもらえる！ことを体感しました。
- 子どもたちに、ワークショップを通して楽しみながら様々なことを伝える機会をいただきました。
- 災害の多い日本の中で、被災された方々、その土地のことを忘れないように、今に活かしていく取り組みをしています。
- 新しい取り組みとして、「アートが人を惹き付ける力・アート対話」「マイクロアグレッション」などをワークショップという形で参加者に訴える方法を研究しています。

\*原点を見直す、新しく取り組む課題が見えた1年でした。これも、みなさまのお陰と感謝しております。